

# VC-50HD Video Field Converter

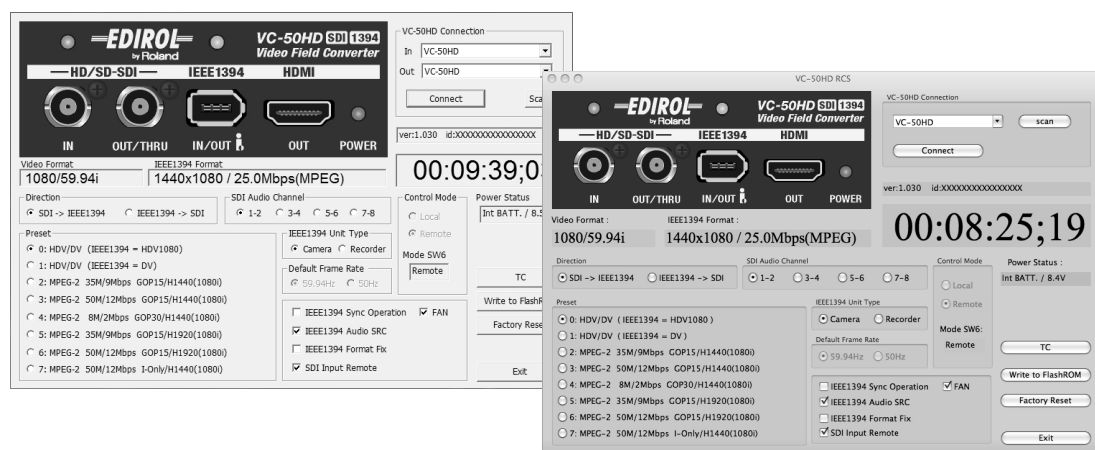
## 専用リモート・コントロール・ソフトウェア

# VC-50HD RCS

# 取扱説明書

VC-50HD ビデオ・フィールド・コンバーターをご活用いただきありがとうございます。  
本書では VC-50HD の専用リモート・コントロール・ソフトウェアについて解説します。  
VC-50HD とコンピュータを USB 接続することにより、VC-50HD 本体のみで行うよりも詳細な  
設定が可能になります。

\* 本ソフトウェアの動作環境に関しては、「動作環境について」(P.2) をご参照ください。



ローランド株式会社は、本ソフトウェアの使用もしくは使用不能に起因するいかなる損害（利益の損失、データの損失、その他の物理的あるいは金銭的損失など）に関して一切の責任を負わないものとします。  
ローランド株式会社からそのような損害の可能性について、あらかじめ知らされていた場合も同様です。

© 2009 ローランド株式会社 本書の一部、もしくは全部を無断で複製・転載することを禁じます。

Microsoft, Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。  
Apple, Macintosh は、米国 Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

# 動作環境について

本ソフトウェアを動作させるコンピューターは、以下に対応している必要があります。

※本ソフトウェアは、下記条件を満たす標準的なコンピューターでの動作確認を行っておりますが、この条件下での動作をすべて保証するものではありません。条件を満たしたコンピューターであっても、機器固有の設定仕様や使用環境の違いにより処理能力が異なることをご了承願います。

## 対応 OS

- WindowsXP Home Edition / Professional Service Pack 2 以上
- Windows Vista Service Pack 1 以上
  - ※64ビット版のWindowsでは動作しません。
  - ※WindowsXP Media Center Editionでは動作しません。
- Mac OS X 10.5 以降

## CPU

- Windows Pentium/Celeron または互換プロセッサ 1.6GHz 以上  
(互換プロセッサそのものの互換性に関しては保証いたしかねます。)
- Mac OS Intel プロセッサ

## メモリー

512 MB 以上

## 画面解像度／色数

800 x 600 ドット以上

65,536 色 (16 ビット・カラー) 以上

## USB 端子

USB 2.0 準拠品を推奨。

## VC-50HD RCS を起動する

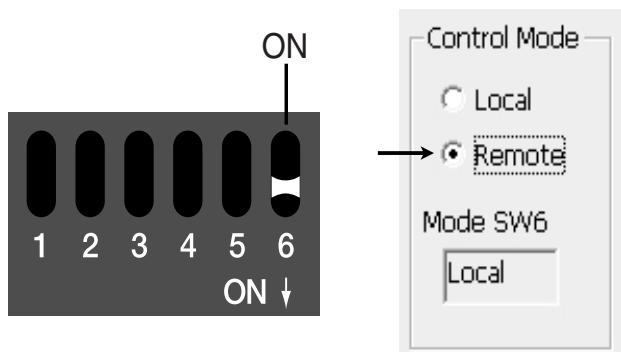
<http://www.roland.co.jp/solution/> からダウンロードしたファイルを解凍し、VC-50HD RCS のアイコンをダブル・クリックします。本ソフトウェアが起動します。

コンピューターの操作については、お使いのコンピューターの取扱説明書をご覧ください。

# VC-50HD とコンピューターを接続する

VC-50HD をコンピューターに接続するときは、VC-50HD 本体のモード切替スイッチの 6 を ON にしてください。

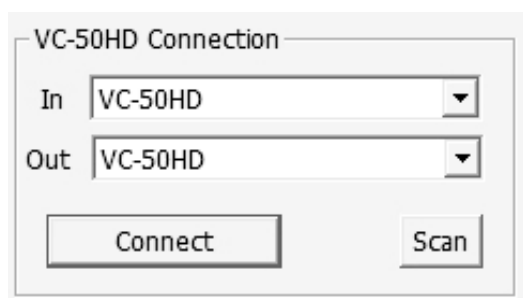
※OFF で接続する場合には、本ソフトウェアの [Control Mode] で [Remote] を選択してください。この操作により、本体のモード切替スイッチを操作しなくても、リモート・コントロールを受けるモードに変更することができます。



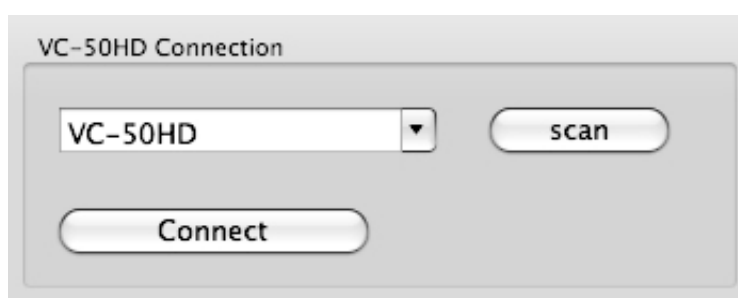
本ソフトウェアの VC-50HD Connection セクションを使い、以下の手順で VC-50HD とコンピューターの接続を行います。

接続操作を行う前に VC-50HD とコンピューターを USB ケーブルで接続し、電源を入れてください。

Windows



Mac



1. [Scan] ボタンをクリックする
2. 「VC-50HD」または「USB オーディオデバイス」を選択する

※ Windows では In/Out の項目それぞれに「VC-50HD」または「USB オーディオデバイス」を選択します。Mac では In/Out 別の項目はありません。

※ Windows Vista/Mac OS X では「VC-50HD」と表示されます。Windows XP では「USB オーディオデバイス」と表示されます。

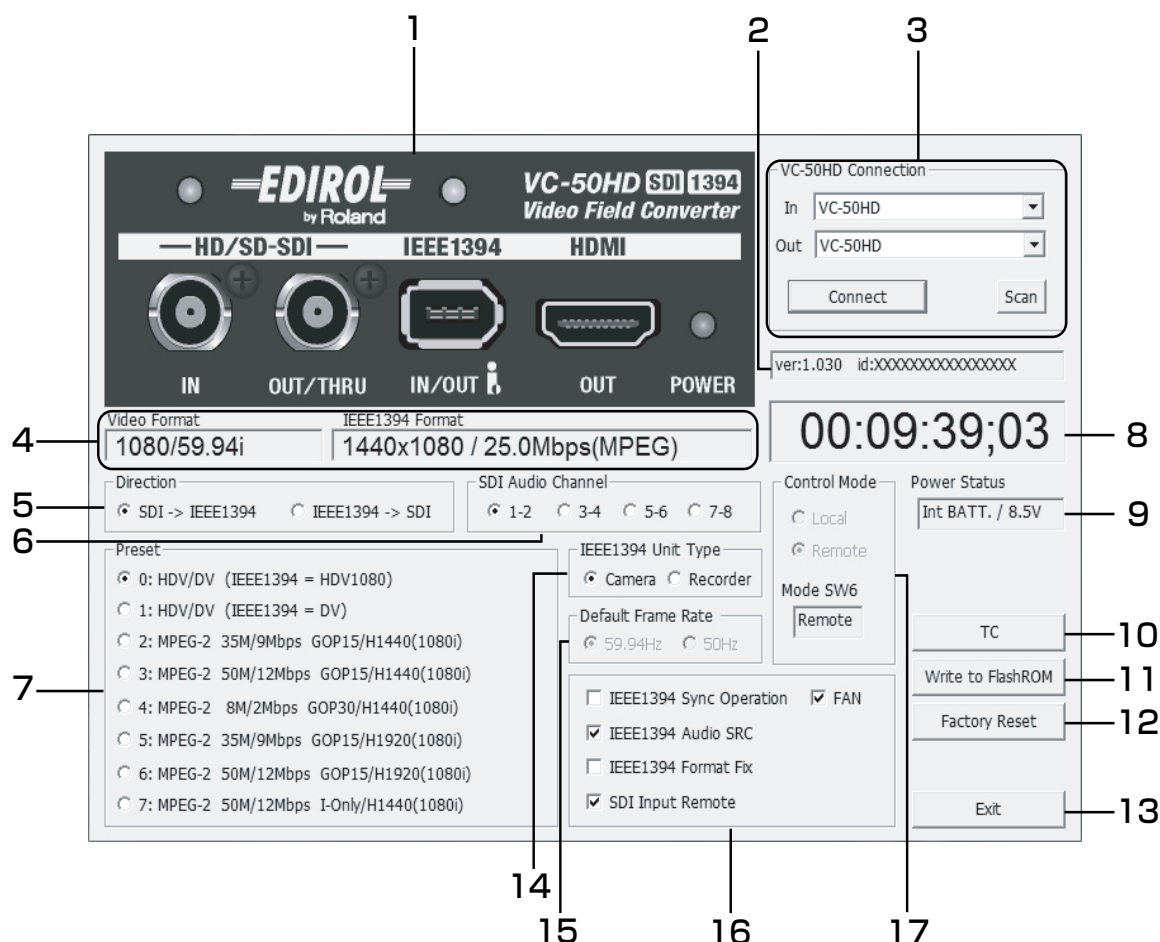
3. [Connect] ボタンをクリックする

VC-50HD の現在の状態が読み込まれ、画面に表示されます。

## メモ

手順 2. で「VC-50HD」または「USB オーディオデバイス」が表示されないときは、コンピューターから VC-50HD が認識されていない可能性があります。コンピューターのデバイス・マネージャーなどで確認してください。

# 各部の機能と名称



## 1. ディスプレイ

3つのインジケータの状態を確認できます。

- HD/SD-SDI インジケータ
- IEEE1394 インジケータ
- POWER インジケータ

## 2. バージョン／シリアル番号

VC-50HD 本体ファームウェアのバージョン・ナンバーとシリアル番号が確認できます。

## 3. VC-50HD Connection セクション

VC-50HD とコンピュータを接続するための操作を行います。「VC-50HD とコンピュータを接続する」(P.3) をご参照ください。

## 4. Video Format/IEEE1394 Format

ビデオ信号および IEEE1394 の入出力フォーマットを表示します。

※変換できない信号フォーマットが入力された場合 ( ) つきで表示されます。

※HDV は MPEG と表示されます。

## 5. Direction

変換の方向を選ぶことができます。

- HD/SD-SDI から IEEE1394 へ
- IEEE1394 から HD/SD-SDI へ

※VC-50HD のモード切替スイッチの 1 と同じ機能です。

## 6. SDI Audio Channel

SDI オーディオの入出力チャンネルを設定します。

※VC-50HD のモード切替スイッチの 2/3 と同じ機能です。

## 7. Preset

IEEE1394 の信号フォーマット／解像度／ビット・レートを選択します。「プリセットを設定する」(P.6) をご参照ください。

## 8. タイムコード・ディスプレイ

VC-50HD から出力されているタイムコードを表示します。

## 9. Power Status

VC-50HD が現在動作している電源の種別が表示されます。

- Int BAT      内蔵バッテリーで動作
- EXT DC IN    外部バッテリーまたは AC アダプターで動作

どちらの場合も電圧が表示されますが、値は目安です。

## 10. TC ボタン

タイムコードに関する各種パラメーターを設定する画面を開きます。「タイムコード・パラメーターを変更する」(P.8) をご参照ください。

## 11. Write to FlashROM ボタン

設定した内容を VC-50HD の内部メモリーに保存します。保存した内容は電源を切っても失われません。

※Direction、SDI Audio Channel、Preset、Control Mode の各設定は保存されません。

VC-50HD 本体のモード切替スイッチの設定が優先されます。

## 12. Factory Reset ボタン

VC-50HD の設定を工場出荷時の状態に戻します。

## 13. EXIT ボタン

VC-50HD RCS を終了します。

## 14. IEEE1394 Unit Type

VC-50HD に接続する IEEE1394 機器から見て、どのように見えるのかを設定します。

- Camera

IEEE1394 機器からは VC-50HD がカメラのように見えます。

F-1 を接続してシンクロ録画を行いたい場合は [Camera] に設定します。

- Recorder

IEEE1394 機器からは VC-50HD がレコーダーのように見えます。

シンクロ録画を行わない、一般的な使用法では [Recorder] に設定します。

## 15. Default Frame Rate

接続された IEEE1394 機器が認識する VC-50HD のフレーム・レートを設定します。

## 16. 設定チェック・ボックス

レコーダーとの同期など、各種設定を行います。「設定チェック・ボックスで設定を変更する」(P.7) をご参照ください。

## 17. Control Mode

[Local] が選択されていると、コンピューターからのリモート・コントロールはできません。リモート・コントロールする場合は [Remote] を選択しておきます。

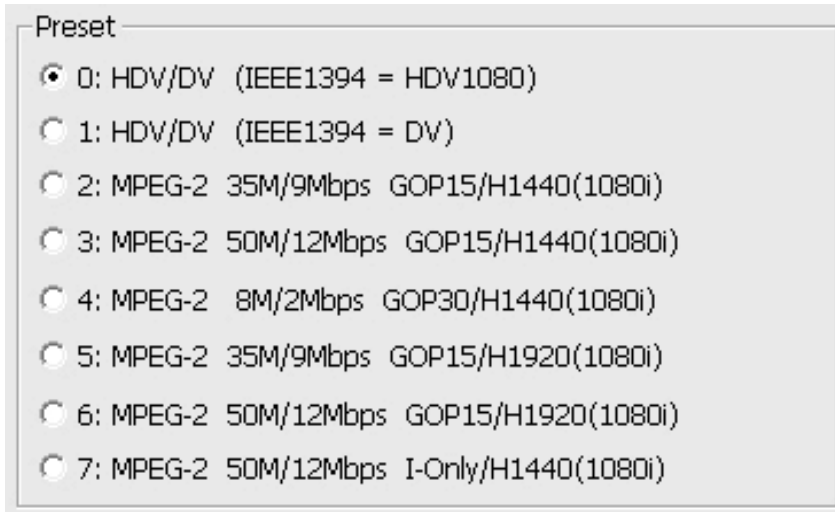
※[Mode SW6] 部分には VC-50HD の本体設定が表示されます。モード切替スイッチの 6 が ON の場合は [Remote]、OFF の場合は [Local] と表示されます。

※モード切替スイッチの 6 が OFF で [Local] が表示されている場合でも、Control Mode で [Remote] を選択すれば、コンピューターから VC-50HD をリモート・コントロールすることができます。

# プリセットを設定する

[Preset] で IEEE1394 出力の信号フォーマット／解像度／ビット・レートを選びます。コンピュータでの設定により、出力フォーマットが変化します。

※ 下記の 0～7 の中で 0～3 は VC-50HD 本体のモード切替スイッチの操作によっても設定できます。4～7 は本ソフトウェアでのみ設定できます。



The screenshot shows a window titled "Preset" with a list of eight radio button options. Option 0 is selected. The options are:

- ☒ 0: HDV/DV (IEEE1394 = HDV1080)
- ☐ 1: HDV/DV (IEEE1394 = DV)
- ☐ 2: MPEG-2 35M/9Mbps GOP15/H1440(1080i)
- ☐ 3: MPEG-2 50M/12Mbps GOP15/H1440(1080i)
- ☐ 4: MPEG-2 8M/2Mbps GOP30/H1440(1080i)
- ☐ 5: MPEG-2 35M/9Mbps GOP15/H1920(1080i)
- ☐ 6: MPEG-2 50M/12Mbps GOP15/H1920(1080i)
- ☐ 7: MPEG-2 50M/12Mbps I-Only/H1440(1080i)

0～7 の設定値は以下のとおりです。

**0 : HDV/DV (IEEE1394 = HDV1080)**      本体モード切替スイッチ 4:OFF、5:OFF に相当します。

- HD-SDI が入力された場合は HDV を、SD-SDI が入力された場合は DV を出力します。
- IEEE1394 入力を受けた場合、接続機器からの問い合わせに対し、対応フォーマットは HDV1080 であると応答します。

**1 : HDV/DV (IEEE1394 = DV)**      本体モード切替スイッチ 4:OFF、5:ON に相当します。

- HD-SDI が入力された場合は HDV を、SD-SDI が入力された場合は DV を出力します。
- IEEE1394 入力を受けた場合、接続機器からの問い合わせに対し、対応フォーマットは DV であると応答します。

**2 : MPEG-2 35M/9Mbps GOP15/H1440(1080i)**      本体モード切替スイッチ 4:ON、5:OFF に相当します。

- HD の場合 35Mbps、SD の場合 9Mbps の Long GOP MPEG-2 TS を出力します。
- 1080i の解像度は 1440 x 1080i になります。

**3 : MPEG-2 50M/12Mbps GOP15/H1440(1080i)**      本体モード切替スイッチ 4:ON、5:ON に相当します。

- HD の場合 50Mbps、SD の場合 12Mbps の Long GOP MPEG-2 TS を出力します。
- 1080i の解像度は 1440 x 1080i になります。

**4 : MPEG-2 8M/2Mbps GOP30/H1440(1080i)**

- HD の場合 8Mbps、SD の場合 2Mbps の Long GOP MPEG-2 TS を出力します。
- 1080i の解像度は 1440 x 1080i になります。

**5 : MPEG-2 35M/9Mbps GOP15/H1920(1080i)**

- HD の場合 35Mbps、SD の場合 9Mbps の Long GOP MPEG-2 TS を出力します。
- 1080i の解像度は 1920 x 1080i になります。

**6 : MPEG-2 50M/12Mbps GOP15/H1920(1080i)**

- HD の場合 50Mbps、SD の場合 12Mbps の Long GOP MPEG-2 TS を出力します。
- 1080i の解像度は 1920 x 1080i になります。

**7 : MPEG-2 50M/12Mbps I-Only/H1440(1080i)**

- HD の場合 50Mbps、SD の場合 12Mbps の Intra only MPEG-2 TS を出力します。
- 1080i の解像度は 1440 x 1080i になります。

# 各種設定を行う

## 設定チェック・ボックスで設定を変更する



### 1. IEEE1394 Sync Operation

チェックを入れると、接続された IEEE1394 機器との同期動作を行うようになります。[IEEE1394 Unit Type] の設定によって動作が異なります。

#### [Camera]

VC-50HD の IEEE1394 端子に接続したレコーダー／プレイヤーの再生開始／再生停止に従って変換方向（Direction）が自動的に切り替わります。再生を行うと、IEEE1394 から HD/SD-SDI への変換になります。

カメラを IEEE1394 端子に接続した場合、カメラの録画開始／録画停止操作が Recording Mark として VC-50HD の HD/SD-SDI 出力に埋め込まれます。

#### [Recorder]

VC-50HD の IEEE1394 端子に接続した機器の AV/C コマンドに従って、変換方向（Direction）が自動的に切り替わります。

### 2. IEEE1394 Audio SRC

チェックを入れると、音声のサンプリング周波数変換機能がオンになります。入力信号が 48kHz 以外の場合はチェックを入れてください。

### 3. IEEE1394 Format Fix

チェックを入れると、IEEE1394 端子の入出力フォーマットを固定することができます。固定されるフォーマットは以下の 2 つによって決まります。

#### Default Frame Rate

59.94fps または 50fps から選択します。

#### Preset

- 0 : HDV1080 フォーマットに固定されます。
- 1 : DV フォーマットに固定されます。
- 2～7 : MPEG-2/HDV720 フォーマットに固定されます。

### 4. SDI Input Remote

チェックを入れると、SDI 入力から受信した REC START/STOP コマンドを IEEE1394 機器に AV/C コマンドとして発行します。同時に VC-50HD のステータスも切り替わります。

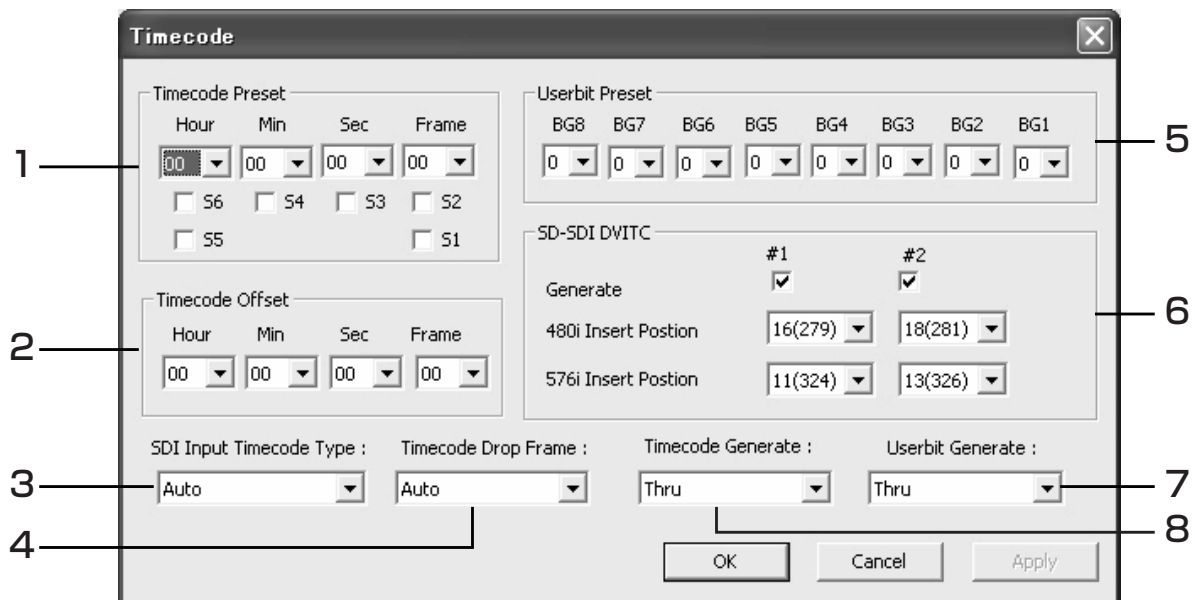
### 5. FAN

チェックを外すと、VC-50HD の排気ファンが停止します。極めて無音に近い状態での録音が必要な場合にのみ停止させてください。通常の使用ではファンを停止させないでください。

※ 停止させる場合は、VC-50HD を他の機器の上に重ねたり、VC-50HD の上に他の機器を重ねたりしないでください。

## タイムコード・パラメーターを変更する

[TC] ボタンをクリックすると、以下の画面が開きます。この画面上でタイムコードに関する各種設定を変更することができます。[OK] ボタンをクリックすると、設定した値が [Preset] に反映されて画面が閉じます。[Apply] ボタンをクリックすると、設定した値が [Preset] に反映されるのみで画面は閉じません。



### 1. Timecode Preset

タイムコード・ジェネレーターが Free Run のときのプリセット値を変更します。S1 ～ S6 ビットも指定できます。

### 2. Timecode Offset

タイムコード・ジェネレーターが Offset のときのオフセット値を設定します。

### 3. SDI Input Timecode Type

HD/SD-SDI から入力されるタイムコードのタイプを選択します。

### 4. Timecode Drop Frame

PAL/50fps 以外の信号を受けたときの、ドロップ・フレーム／ノン・ドロップ・フレームの設定ができます。

### 5. Userbit Preset

ユーザービットが Preset のときのプリセット値を設定します。

### 6. SD-SDI DVITC

SD-SDI 信号を出力するときの Digital VITC (SMPTE 266M) 出力の設定ができます。

Digital VITC は 1 フィールドあたり 2 ラインまで挿入できます。

### 7. Userbit Generate

出力するユーザービットを選択します。

### 8. Timecode Generate

出力するタイムコードを選択します。